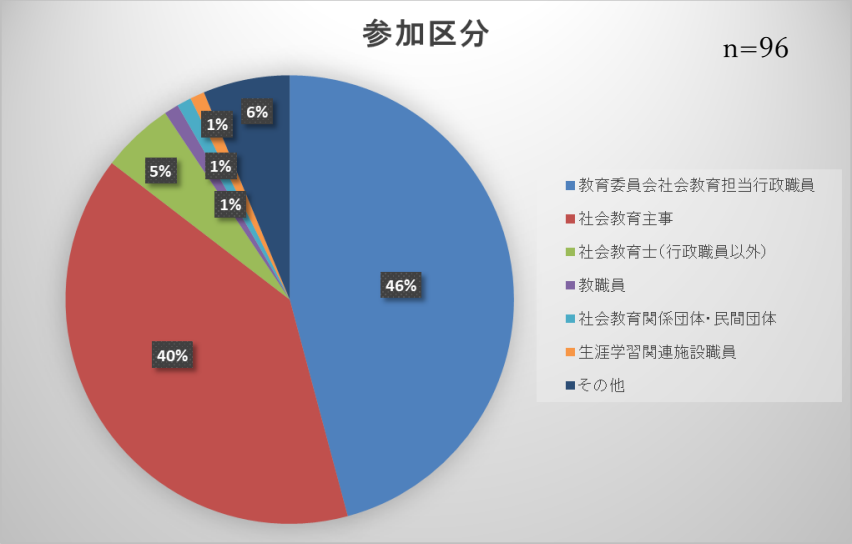


「北海道社会教育セミナー」

事業の内容

- 1 日 時 令和7年5月29日（木）
～30日（金）
- 2 場 所 道民活動センタービル かでる2・7
- 3 参加者 176 名
内訳 基礎講座 60 名
研究協議 74 名
オンライン 42 名

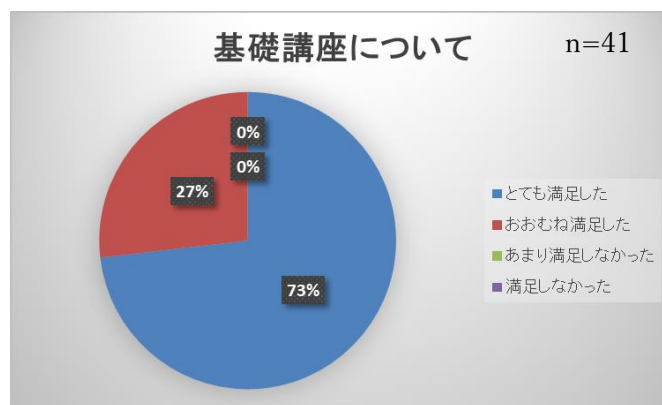
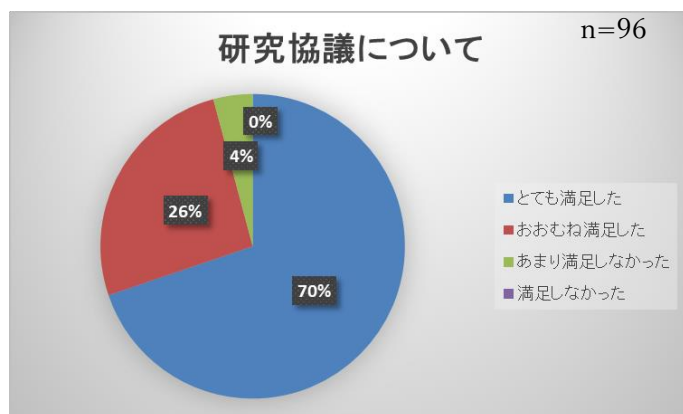
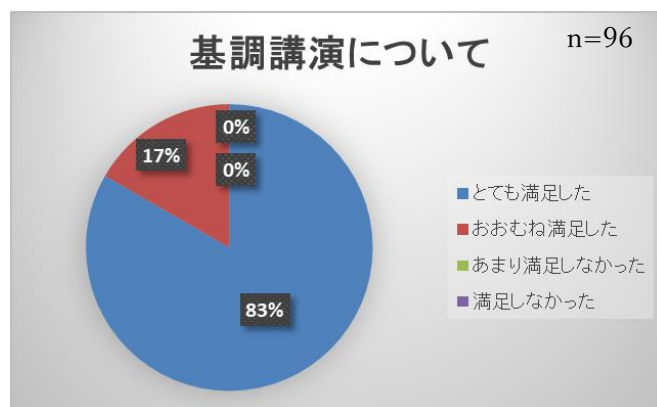
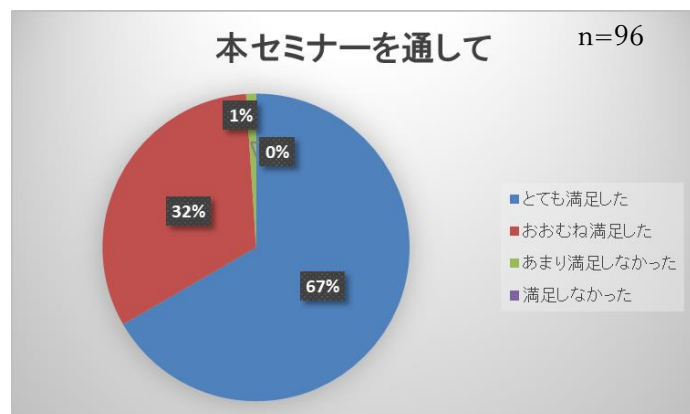


I プログラム

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
1 日 目		受付	開 会	基調講演 (か・でるホール) 【 オンライン配信 】		テ マ 説 明	昼食・休憩	研究協議Ⅰ（A・B・C）									
	基礎講座（ア）							基礎講座（イ）									
2 日 目	受付	研究協議Ⅱ (A・B・C)		全体会 閉会													
		基礎講座（ウ）															

【基調講演】 「地域の担い手から創り手へ、地域みんなでまちづくり」	【内容】 島根県益田市の事例から、人の思いをつなぐ仕掛けや持続可能な地域となるための若年層を取り入れた議論の場をつくるなど、社会教育人材に求められる人づくりや地域づくりの実践方法について理解を深めることができた。
【講師】 NPO法人おむすび理事長 大畑 伸幸 氏	
【研究協議】 「地域の魅力を掘り起こす社会教育事業と横展開を図る仕組みづくり」 A 青少年の体験活動 B 障がい者の生涯学習 C 地域学校協働活動	【内容】 3つの分科会に分かれ、研究テーマに基づいたグループワークにより、市町村における地域課題を解決に向けたアクションについて確認することができた。
【基礎講座】 ア「アイスブレイクの意義と手法」 講師：北海道教育庁教育局教育支援課社会教育指導班 イ「思いを伝える広報のポイント」 講師：認定NPO法人カルチャーナイト北海道副理事長（社会教育士） 加賀 千登世 氏 ウ「社会教育士の活動事例：地域の人と人をつなぐ地域食堂」 講師：ふくふく家族の会会長（社会教育士） 福屋 聖恵 氏	【内容】 社会教育事業を企画・運営するために必要な基礎知識や技能を修得することをねらいとしたプログラムを実施するとともに、社会教育士の活躍事例から、思いを形にするための社会教育人材のネットワークなどの重要性について、理解することができた。

Ⅱ アンケート結果



Ⅲ 参加者の声

- ・未来を担う子どもたちとともに、世代を超えて現役世代も高齢者も いきいきと暮らせるまちづくりをつくっていきたいです。
- ・対話が大切ということに改めて気づくことができました。
- ・行政による人づくりが地域づくりにつながることを深く学び、なにより、高校生、中学生がキラキラと輝く姿がとても魅力的に感じました。
- ・行政の丁寧な積み上げが地域に浸透し、学びが生まれる様子が社会教育の面白さにつながっているのかなと思いました。
- ・大変興味のある講座でした。他の町の職員と交流して、他の町での取組や、自分の町の課題に改めて気づくことができたので、非常に良い講座でした。



Ⅳ 担当者からひとこと

基調講演では、過疎地域とされる島根県益田市において、「ひとづくり」「地域づくり」「つながりづくり」に関わる大人の姿や、その姿を見て育つ子どもの姿などから、持続可能なまちづくりの実践を学ぶことができました。社会教育主事や社会教育士をはじめとした社会教育関係者の学びが深まったという声もいただき、嬉しく感じています。また、基礎講座では、民間の社会教育士のお二方に講師として登壇いただき、専門的且つ実践的で充実した内容となりました。今後も社会教育士の活躍の場をつくり、さらなる連携した取組を実践していきたいと考えております。